

持続可能な開発 ソリューション・ネットワーク・ジャパン

SDSNについて

「持続可能な開発ソリューション・ネットワーク」(Sustainable Development Solutions Network: SDSN)は、学術機関や企業、市民団体をはじめとするステークホルダーの連携のもとに解決策を導き、持続可能な社会を実現するための最善の方法を明らかにして共有することを目的としているグローバルなネットワークです。2012年国連事務総長の提唱により展開され、世界各地(国ごとまた地域[リージョン]ごと)に活動の拠点が形成されています。

SDSN Japanは、世界のSDSNネットワークを構成する日本のハブとして2015年に発足し、理事会において活動の方向付けを行っています。

SDSN Japanの活動目的

1. SDGsを始めとするサステナビリティの課題への取組
2. 多様なステークホルダーとの協働のためのプラットフォーム構築
3. 国連機関や国際機関の関係者、各国・各地域ネットワークとの連携による国際動向のフォロー、および日本の活動の国際発信

SDSN Japan 理事会メンバー(2017年7月現在)

浜中裕徳	SDSN Japan理事会 議長 地球環境戦略研究機関(IGES) 特別研究顧問
武内和彦	SDSN Japan理事会 副議長 地球環境戦略研究機関(IGES) 理事長 東京大学サステナビリティ学連携研究機構(IR3S) 機構長・特任教授 国連大学 上級客員教授
荒川博人	住友商事 顧問
有馬利男	グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン(GCNJ) 代表理事 富士ゼロックス株式会社 イグゼクティブ・アドバイザー
大野容子	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドボカシー・スペシャリスト 一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク 進行役
沖大幹	国際連合大学 上級副学長 東京大学生産技術研究所 教授
蟹江憲史	SDSN Japan プログラムディレクター 慶應義塾大学 教授 国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS) シニアリサーチフェロー
亀山康子	国立研究開発法人国立環境研究所社会環境システム研究センター 副センター長
国谷裕子	キャスター 東京藝術大学 理事
黒田かをり	一般財団法人CSOネットワーク 事務局長・理事
末吉竹二郎	自然エネルギー財団 代表理事・副理事長 国連環境計画・金融イニシアティブ 特別顧問
鈴木佑司	日本ユネスコ協会連盟 理事長
竹本和彦	SDSN Japan 事務局長 国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS) 所長 一般社団法人海外環境協力センター(OECC) 理事長
田中明彦	政策研究大学院大学(GRIPS) 学長
花本啓祐	東洋大学情報連携学部・情報連携学研究所(教授) 日本学術会議 副会長
村上周三	一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 理事長
森澤充世	CDP ジャパンディレクター PRI事務局 ジャパンヘッド

インターナショナル・アドバイザー

石井菜穂子 地球環境ファシリティ(GEF) 統括管理責任者(CEO)・議長

SDSN Japanの主な活動

2017年4月

SDGダイアログ「グローバル企業と2030アジェンダ」の開催(東京)

昨今の社会情勢の大きな変化を踏まえ、SDGsが指し示す社会のあるべき姿に照らした、新しい企業経営の在り方について議論。ユニリーバ、トヨタ、イオン、GCNJ、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)、CDPの代表者などが登壇。



2017年3月

マルチステークホルダー・パートナーシップに関するワークショップの開催(バンコク)

UNESCAP及びUNU-IASの共催により、持続可能な開発に関するアジア太平洋フォーラム(APFSD)においてワークショップを開催。アジア太平洋地域におけるSDGsの達成に向けて、多様な主体による効果的なパートナーシップの在り方について議論。



2016年12月

SDGs実施指針策定に関する共同記者会見の実施(東京)

日本政府による「持続可能な開発目標(SDGs)実施指針」の策定を受け、SDGs市民社会ネットワークなどとの共催により、日本記者クラブにて共同記者会見を実施。SDSN Japanから蟹江プログラムディレクターが参加。



2016年10月

SDGダイアログ「地域機構と持続可能な開発目標—科学と政策、能力形成」の開催(東京)

持続可能な開発のための2030アジェンダを、アジア太平洋地域における国や地域の優先課題にどのようにして落とし込むことができるのかについて、国連アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP)の担当者を交えて議論。

